

会社での会話、
足りていますか？

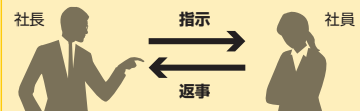
創業期こそ コミュニケーションを 大切にしよう

淡々と作業的に日々の業務をこなすだけでは息苦しく、仕事が能率的に進まなくなることだろう。仕事のオンオフを作ることは、オフィス全体がそれを推奨する意識的な雰囲気づくりとコミュニケーションを増やすための気遣いが必要になる。部下とのコミュニケーション不足を薄々と感じている創業者の方もいるだろう。そんな時は、1杯のコーヒーを使ってコミュニケーションの場を作ってみるのはいかがだろうか？

「会話」足りていますか？

創業期もその先も、経営者は常に仕事を第一に考え、責任感も人一倍のしかかる。そこで視野が狭くなり、社員に指示を出すだけのやりとりばかりになっていくケースは多い。何気ない世間話を交え、社員の考えや現状に「興味をもつ」姿勢を見せるだけでも効果は現れるはずだ。経営者も、より社員のキャラクターを理解し、業務における適材適所を見極めることにもつながるだろう。コミュニケーション活性化の第一歩を踏み出すことは、難しいことではないのだ。そこに、1杯のコーヒーを用意してみたら、それだけで場が明るくなることだろう。

これは「会話」ではありません！
あなたの会社は大丈夫ですか？



何気ない会話が、
働きやすい職場づくりの基本です！



各々が別のことをしていて会話が無い。創業手帳Sはこの環境に閉塞感を感じていた。

うーん、
困ったな…

コミュニケーション活性化ツール 「スマイルスマイルボックス」を 創業手帳で導入してみた。



そんなSの目に留まったのは、UCCのコーヒーマシンが使用でき、ドリップポッド（コーヒー）の詰め合わせがオフィスに届くという「スマイルスマイルボックス」の宣伝だ。



スマイルスマイル
ボックス
届きました！



5

これで社内の
コミュニケーションも
バッチリ!!



紅茶・緑茶も
一台で！

おいしいコーヒーに笑顔溢れる創業手帳メンバーたち。ほんの1杯のコーヒーが、絆をつくるきっかけになる…かもしれない。

操作も
簡単！

月替りおたのしみコーヒーの一例

ハワイコナブレンド



生豆生産国：
アメリカ合衆国、
ブラジル他

人気のハワイ島コナ・コーヒーを贅沢にブレンド。すっきりとした酸味と、爽やかな味わいが特長です。

モカ&キリマンジャロ



生豆生産国：
エチオピア、
タンザニア

エチオピア産モカと、タンザニア産キリマンジャロのブレンドは、それぞれの個性が生きた、フルーティーな酸味とココのある味わいです。

ご利用者の声

「コーヒーを買いにわざわざ外へ行く必要もないので便利」
コーヒーマシンがあることで休憩や会話のきっかけを作ることができることはとても大きなメリットだと思います。一杯のコーヒーでコミュニケーションも多くなり、仕事にもメリハリが出ます。以前に他のコーヒーマシンを使ったことがあるのですが、それと比べて起動の時間や抽出の早さはとても優れていると感じました。「電源を入れて、すぐ飲める」というのが良いですね。



株式会社 Jusmaru
CIO 松澤樹さん